



超参加型音楽イベント MLAP
2018 ~ 2021





年齢、国籍、性別、障がいとともにある人も
ない人も、みんなが自分自身とお互いを尊重
し合って、、楽しかったね♪ありがとう♪



超参加型音楽イベント実践報告 — コミュニティ&施設利用者対象

平尾バプテスト教会 「こひつじの園ランチカフェ」内のイベントとして

日時：2018年10月20日（土） 時間：13:30~14:00

場所：平尾バプテスト教会（福岡市中央区）

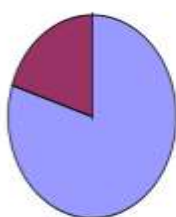
参加者：地域住民、重度心身障がい者施設利用者 など 約80名

MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 2名

ボランティア 2名（内1名 学卒の障がいとともにある本人）

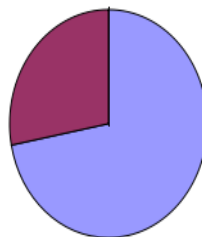


今回の参加型音楽会は楽しかったですか



■ とても楽しかった
■ やや楽しかった
□ やや楽しなかった
□ 楽しなかった
■ 未回答

また参加したいですか



■ 参加したい
■ やや参加したい
□ あまり参加したくない
□ 参加したくない
■ 未回答

医療法人財団つばさ 行橋厚生病院

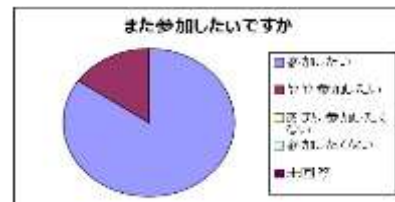
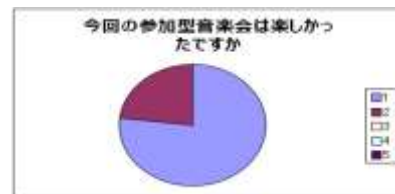
第4回健康フェアにおいて「音楽ひろば」を実施

日時：2018年11月11日（土） 時間：10:30～12:30

場所：医療法人財団つばさ 行橋厚生病院（福岡県）

参加者：地域住民、入院患者 など 約40名

MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 3名



社会福祉法人 恵光園

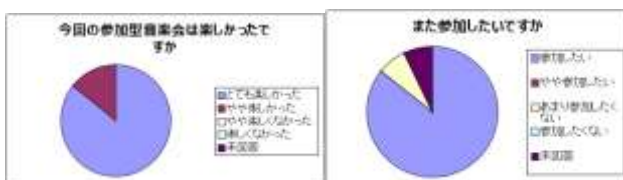
第39回福祉の文化祭のプログラムの1つとして実施

日時：2018年11月23日（日） 時間：12:30～13:00

場所：社会福祉法人 恵光園（福岡県）

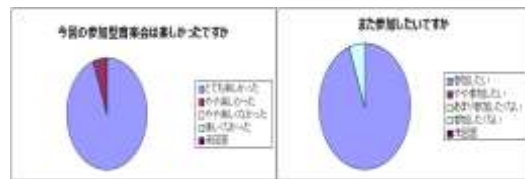
参加者：地域住民、施設利用者 など 約80名

MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 4名



福岡市立城南障がい者フレンドホーム ふれあい広場クリスマス会

日時：2018年12月8日（土） 時間：14：20～14：40
 場所：福岡市立城南障がい者フレンドホーム併設老人福祉センター寿楽園 2階
 大広間 （福岡市 城南区）
 参加者：地域住民、施設利用者など約80名
 MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 2名、ボランティア 3名



練習しています♪



ふれあい広場
クリスマス会

日時：平成30年12月8日（土）
 12：30～15：30

対象：福岡市内にお住まいの障がい児・者、地域にお住まいの方。幼児も参加できます。

場所：寿楽園 2F 大広間（城南フレンド併設）

参加費：200円
 ※12月5日（水）までにお申し込み下さい。

内容

- 12:30～ クリスマス工作
 「壁掛けクリスマスツリー」を作ります。
- 13:40～ クリスマスツリー飾り付け
- 14:00～ 「にこにこ手話ダンス」ダンス練習
 「MLAP」楽しい！ みんなで参加する、音楽会
- 14:40～15:30 お楽しみ抽選会

お問い合わせ
 福岡市立城南障がい者フレンドホーム
 清家・野中
 TEL 801-1180 FAX 801-1123

りんりんりんくすⅢ

日時：2018年 12月 22日（土） 時間：10:30～11:45

場所：福岡市市民福祉プラザホール（福岡市 中央区）

参加者：80名

ボランティア：15名（一般1名、福岡大学・西日本短期大学学生25名・障がいのある本人1名・西日本短期大学和太鼓サークルメンバー4名）

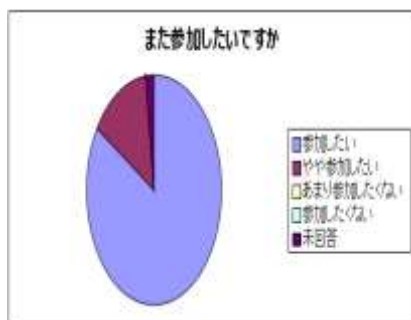
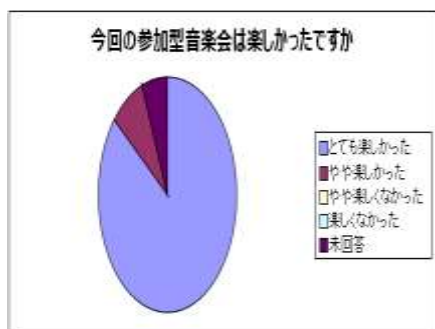
MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 4名

<<概要>>

音楽療法士を中心とした勉強会である博多音楽療法コミュニティ LINKS の3回目の超参加型音楽イベント「りんりんりんくすⅢ」として初めてのふくふくホールでの実施になりました。多くの地域住民の皆さま、多くのボランティアの方、そしてスタッフの協力で、盛大なイベントになりました。開催をクリスマスの時期にしたことで、テーマ性もはっきりとして華やかでにぎやかな雰囲気になりました。

<<プログラム内容>>

超参加型音楽イベント MLAP のファシリテーターとして4名の MLAPPERS と大勢のボランティアメンバーを中心に、歌唱、身体活動、楽器活動、鑑賞、のプログラムを75分程度実施しました。ボランティアメンバーがのりのりで、明るい雰囲気を引き出してくれました。





りんりんリンクス III

みんなが参加できる音楽会

MLAP—Music with Life for ALL—

♪プログラム♪

みんなで手拍子



みんなで楽器演奏



みんなで歌おう



みんなでダンス

他にも盛りだくさんの
プログラムで皆さんを
お待ちしております！

お気に入りの打楽器を
お持ちの方は
持ってきてください♪



日時：

2018年12月22日

時間：

10:30 開始
(10:15 受付開始)

11:45 終了予定

場所：

ふくふくホール

福岡市中央区荒戸3丁目3-39

WE are MUSIC!

MAKE the NOISE!



この音楽会は、
文部科学省生涯学習推進課による「学校
卒業後における障がい者の学びの支援
に関する実践事業」の一環として実施さ
れます♪

*参加希望の方は福岡市手をつなぐ育成会保護者会まで、お知らせください！

申し込み・お問い合わせ：福岡市手をつなぐ育成会保護者会

電話：092-713-1480 e-mail: hogeha@fiku.jp

申し込み内容：①お名前 ②連絡先 ③参加人数 申し込み締め切り日：12月15日（土）

♪当日参加もOKです♪

主催：博多音楽療法コミュニティ・LINKS hakata.ln.ln.links@gmail.com

共催：福岡市手をつなぐ育成会保護者会

社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会指定障がい福祉サービス

ひまわりパーク上牟田 茶話会（保護者会）

日時：2019年8月30日（金） 時間：13:00～14:15

場所：社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会指定障がい福祉サービスひまわりパーク上牟田 デイルーム（福岡市博多区）

参加者：施設利用者とその保護者など約40名

MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 2名

<<概要>>

当該施設において、年に1度実施している「茶話会（保護者会）」の参加者を対象に単発のイベントとして初めて実施しました。参加者は、当該施設利用者とその保護者、当該施設スタッフ含め約40名で、午前中に実施された恒例行事及び昼食後に、初めてのお楽しみのイベントとしての超参加型音楽イベント MLAP の実施でした。そして、MLAP 実施後は、MLAPPERS も含め全員でお茶とお菓子を頂きながらの和やかな談笑の時間となりました。

<<プログラム内容>>

超参加型音楽イベント MLAP のファシリテーターとして2名の MLAPPERS を中心にして、歌唱、身体活動、楽器活動、鑑賞、のプログラムを60分程度実施しました。事前打ち合わせで伺っていた利用者が好んでいる音楽を中心に、一般的に馴染みがある唱歌などをアレンジしてプログラムを作成、また、ひとりひとりにスポットをあてるプログラムを導入し、実施しました。



<<参加者の様子>>

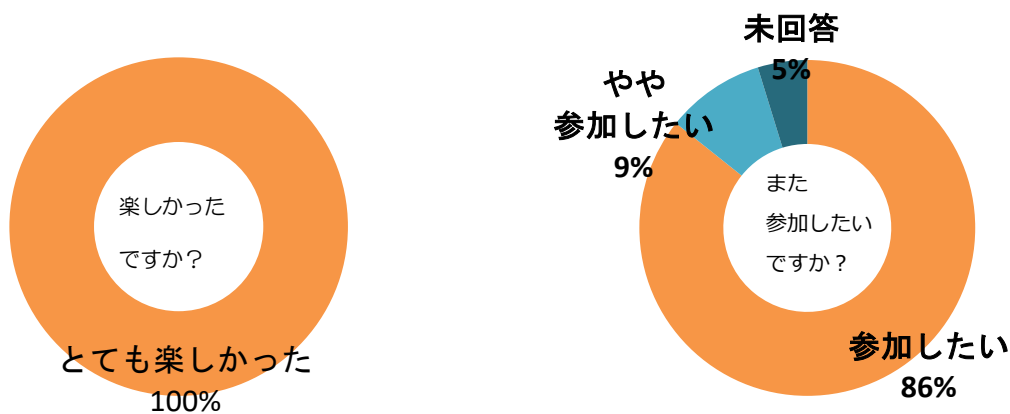
最初は緊張した様子でしたが、少しずつ和んできた様子で、特に利用者の方は全ての活動に積極的に参加してくださいました。保護者の方は、自分自身が楽しんでいる様子であったり、また楽しんでいる利用者を笑顔で見えていました。当該施設スタッフもとてもサポータティブに利用者のプログラムへの参加を促してくださっていました。最後は、保護者からアンコールの声も飛び出し、多いに盛り上がるイベントとなりました。



<<アンケート調査結果>>

終了後のアンケートは21名の方が回答してくださっています。「楽しかったですか？」という設問に対しては、100%が「とても楽しかった」、「また、参加したいですか？」という設問に対しては、95%が「また参加したい」もしくは「やや参加したい」と回答しています。

当該施設利用者には、MLAPPERS が手作りした紙でできた花を籠に入れるという方法でアンケート調査を実施し、「楽しかったですか？」という設問に対しては参加していた全員の当該施設利用者が花を籠に入れました。



- ♪ 「誰もが楽しめる音楽」ということでみんなで身体を動かして音楽を聴くだけでなく楽しむことが出来ました。
- ♪ 歌って踊れて何よりも参加型だったのがとても良かったです。あんなに笑っているのを久しぶりに見た気がします。
- ♪ 皆さんのニーズに対し応えていただきとても良かった。皆さん身体を動かし参加されていた。(施設スタッフ)
- ♪ 1人1人が主役になれる時間があったのも良かったです。最後は温かい気持ちになって涙が出ました。
- ♪ 森のくまさんの歌に合わせてみんなの名前を呼ぶことで全員が参加できてとても素晴らしい工夫だと思いました。将来教員を目指しているのでまねさせていただきます。とても楽しかったです。ありがとうございました。(実習生)
- ♪ 参加者全員一つになって楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。

- ♪ 久しぶりに声を出してすっかり楽しいひとときを過ごしました。ありがとうございました。
- ♪ 事前の打ち合わせで対応していただき利用者の笑顔があふれました。（施設スタッフ）
- ♪ 自分たちの年代の歌でたのしかったです。
- ♪ 一体感がとても素晴らしかったです。音楽の〇〇はすばらしい
- ♪ みなさんで参加できてとても楽しかったです。
- ♪ 楽しいひとときを過ごさせていただきありがとうございました。
- ♪ 楽しいひとときをすごさせてもらいました。
- ♪ 大変に楽しかったです。

<<アンケート調査結果よりの考察>>

「楽しかったですか?」と「また参加したい」という設問に対して、どちらも90%を超える結果となりました。参加者のこの高い満足度を引き出したその理由のひとつとして考えられるのは、事前の打ち合わせ時に対象者の音楽の好みについてアセスメントを実施したという事が挙げられると考えられます。またその情報を基にして、参加者がより参加したくなるであろうプログラムを構築し実施した事、更には当日の参加者の反応に応じて、テンポに変化をつけたり、反応が良い場面は繰り返して実施したりと、臨機応変に柔軟性をもった音楽活動を提供できた事も重要な要因として挙げられると考えられます。

<<連携>>

地元の団体との繋がりができ、今後の連携のきっかけになりました



社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会 交流会

日時：2019年11月14日（木） 時間：10:30～11:30

場所：福岡市立障がい者スポーツセンター（さん・さんプラザ）（福岡市南区）

参加者：社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会関連施設（福岡ひまわりの里・ひまわり園・ひまわりパーク六本松・ひまわりパーク上牟田・事業部）利用者、保護者、職員など約120名

MLAPPERS：MLAP 連携協議委員2名、博多音楽療法コミュニティ LINKS1名

<<概要>>

社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会が年に1度実施している関連事業所の交流会の午前中のイベントとして初めて実施しました。参加者は、福岡市内に在る4つの事業所施設利用者とその保護者、当該施設スタッフ含め約120名でした。

<<プログラム内容>>

超参加型音楽イベント MLAP のファシリテーターとして3名が MLAPPERS として参加しました。内、2名は MLAP 連携協議会委員であり DCFA 協会員福岡ドラムサークル主宰者とそのメンバーであったことから、打楽器を人数分の120個会場に持ち込み、ドラミングの活動を中心にして、歌唱、身体活動、楽器活動、鑑賞、のプログラムを60分程度実施しました。

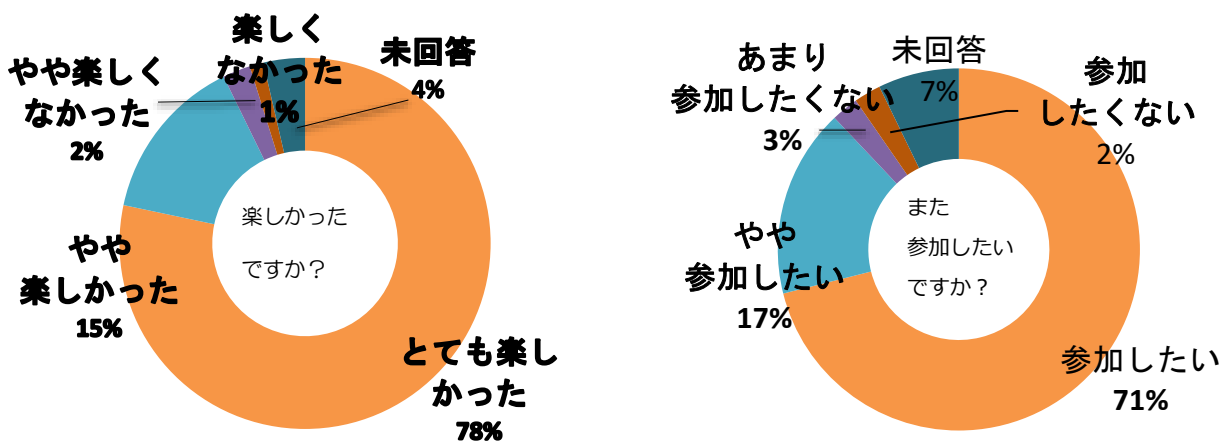


<<参加者の様子>>

120個の楽器が並んでいるのを見ると、積極的に近寄って来てくださって自然と楽器を鳴らし始める姿が印象的でした。大勢で同じ音楽を創り上げていく経験や、その楽器から生まれる振動や自然に出る発声や笑顔は、沢山のひととひととの交流のきっかけになったように見受けられました。ひまわりパーク上牟田の利用者にとっては、2回目の超参加型音楽イベント MLAP への参加だったこともあり、楽しみにしてくださっていたとの事でした。顔なじみの MLAPPERS には、笑顔を交わす場面も多く見られました。今回の超参加型音楽イベント MLAP に対して MLAP 連携協議会一山委員から「・リズムを音、振動など体全体で感じて、気持ちが良い ・みんなと一体になって楽器を鳴らすことが面白い ・皆と合っている感じが心地良い ・前に出て、皆が自分と一緒に合わせてくれることが楽しい、ワクワクする ・初めて会った人とでも笑顔で交流できる ・太鼓や音が鳴るおもちゃを鳴らしながら跳んだり跳ねたりして気分が高まる」とのコメントがありました。

<<アンケート調査結果>>

終了後のアンケートは83名の方が回答してくださっています。「楽しかったですか?」という設問に対しては、93%が「とても楽しかった」もしくは「やや楽しかった」、「また、参加したいですか?」という設問に対しては、88%が「また参加したい」もしくは「やや参加したい」と回答しています。



- ♪ また太鼓をたたきたいです。(障がいのある本人)
- ♪ 次の参加型音楽会にも参加したいです。(障がいのある本人)
- ♪ 楽しかった。(障がいのある本人)
- ♪ 太鼓がとても楽しそうでした。一体感がありました。(障がいのある本人)
- ♪ ジャニーズの曲をやりたいです。(障がいのある本人)
- ♪ また行きたい。(障がいのある本人)
- ♪ 楽器を鳴らす時と止める時が伝わりづらいところではありましたがみなさん楽しまれました。(スタッフ)
- ♪ マイクや太鼓の音が大きすぎると苦手な方が離れていった。(障がいのある本人)

- ♪ サークル活動でやっていますので「参加型音楽イベントMLAP」がなくてもいい。（障がいのある本人）
- ♪ 今回2回目でした。前は育成会ひまわりパーク上牟田でしたが、やや狭い空間でしたので、言葉も音楽もはっきり聞き取れて感銘を受けました。今回は広がったためかマイクの音響のためか言葉が割とききとりにくく残念でした。（保護者）

<<アンケート調査結果よりの考察>>

「楽しかったですか?」と「また参加したい」という設問に対して、どちらも88%を超える結果となりました。120名という大勢の参加者のこの高い満足度を引き出したその理由のひとつとして考えられるのは、楽器活動の持つ、視覚的、聴覚的、触覚的刺激が関係しているのではないかと考えています。また、正誤を気にする事がほとんどないドラミングを集団で演奏する事、希望があればこの集団のリーダーになる事も可能にする活動である事などが、利用者にとっては新鮮な社会的な活動であった事が要因として挙げられると考えられます。

<<連携>>

地元の団体との繋がりができ、今後の連携のきっかけになりました



社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会指定障がい福祉サービス

ひまわりパーク上牟田 地域交流会

日時：2019年11月17日（日） 時間：14:00～15:30

場所：社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会指定障がい福祉サービスひまわりパーク上牟田 デイルーム（福岡市博多区）

参加者：地域住民、施設利用者など約30名

MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 4名

<<概要>>

当該施設において、年に1度実施している「地域交流会」の参加者を対象に単発のイベントとして初めて実施しました。参加者は、当該施設利用者とその保護者、地域住民と当該施設スタッフ含め約30名で、当該施設利用者と地域住民との交流のイベントとしての超参加型音楽イベント MLAP の実施でした。そして、今回も MLAP 実施後は MLAPPERS も含め全員でお茶とお菓子を頂きながらの和やかな時間となりました。

<<プログラム内容>>

超参加型音楽イベント MLAP のファシリテーターとして4名の MLAPPERS を中心にして、歌唱、身体活動、楽器活動、鑑賞、のプログラムを90分程度実施しました。2度目の施設訪問という事もあり、前回に使用した利用者が好んでいる音楽も使用し、新たに前回使用しなかった楽器や手話ソングなど、参加者全員が参加し易いプログラムを作成、実施しました。

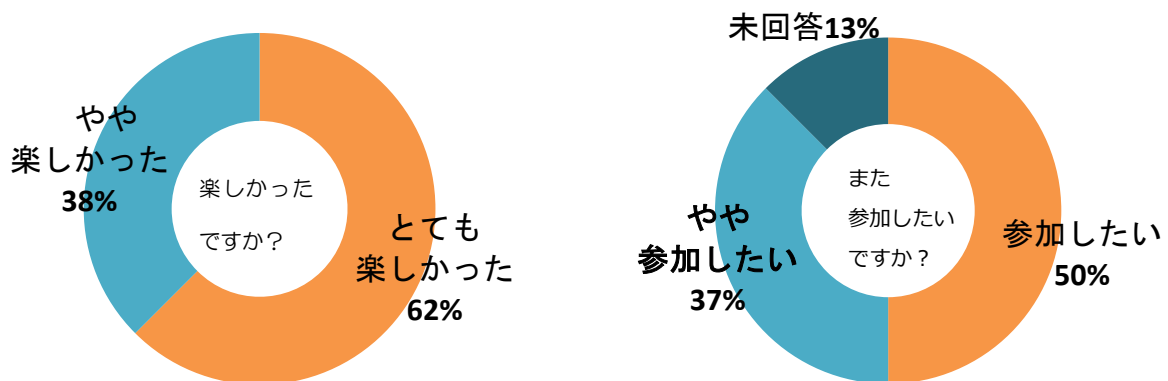


<<参加者の様子>>

2 回目の施設訪問でもあり、交流会のイベントを含むと顔を合わせるのが3回目の利用者の方もおられて、超参加型音楽イベント MLAP との再会を楽しみにしてくださっているという期待感が感じられる雰囲気での実施でした。地域住民の方も当初は緊張した様子も見られましたが、着席の位置が利用者の間であったせいか、利用者の方の積極的な行動に引っ張られるように自然に一緒に参加をしてくださっていたように見受けられました。今回の超参加型音楽イベント MLAP に対して MLAP 連携協議会一山委員から「・利用者のみなさんが MLAP を心待ちにしているのが伝わってくる ・地域の方々も自然に中に入って笑顔になる ・聴覚障がいがある方が手話の歌の体験を通して音楽療法を希望されるようになった ・視覚障がいになられた方が自分から楽器を鳴らそうとしたこと、さらにトーンチャイムの演奏ではみんなから拍手を受けて感動して涙を流しておられた」とのコメントがありました。

<<アンケート調査結果>>

終了後のアンケートは8名の方が回答してくださっています。「楽しかったですか？」という設問に対しては「楽しかった」もしくは「やや楽しかった」が100%、「また、参加したいですか？」という設問に対しては、87%が「また参加したい」もしくは「やや参加したい」と回答しています。



♪ 手話などを多く含んだ歌でみんな楽しめる音楽会だった。(地域住民)

<<アンケート調査結果よりの考察>>

「楽しかったですか？」と「また参加したい」という設問に対して、100%と87%という結果となりました。これらのアンケート結果は、全て地域住民の方によるものであると考えると、このイベントの当初の目的である「地域の交流」イベントとしての役割は果たせたのではないかと考えています。また、同じ施設利用者に対して3回連続して超参加型音楽イベント MLAP を実施したのは今年度が初めての試みであり、利用者の継続した参加による行動の変化なども今年度調査結果として後頁(P44)にて報告をさせていただきます。

<<連携>>

地元の団体との繋がりができ、今後の連携のきっかけになりました。

福岡市立城南障がい者フレンドホーム ふれあい広場クリスマス会

日時：2019年12月14日（土） 時間：14:20～14:40

場所：福岡市立城南障がい者フレンドホーム併設老人福祉センター寿楽園 2階
大広間 (福岡市 城南区)

参加者：地域住民、施設利用者など約80名

MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 4名、ボランティア 1名

<<概要>>

当該施設が毎年実施している「ふれあい広場クリスマス会」の中の1つのプログラムとして、本年度2回目の実施となりました。対象者は、当該施設利用者と地域住民の方でした。

<<プログラム内容>>

超参加型音楽イベント MLAP のファシリテーターとして4名の MLAPPERS とボランティア1名が参加者の前に立って活動をリードしていくというスタイルで、歌唱、身体活動、リズム活動、鑑賞のプログラムを15分程度実施しました。2回目の実施ではありましたが、昨年とは実施の場所環境が違っている事もあり、限られた環境の中でできる内容を計画し実施しました。

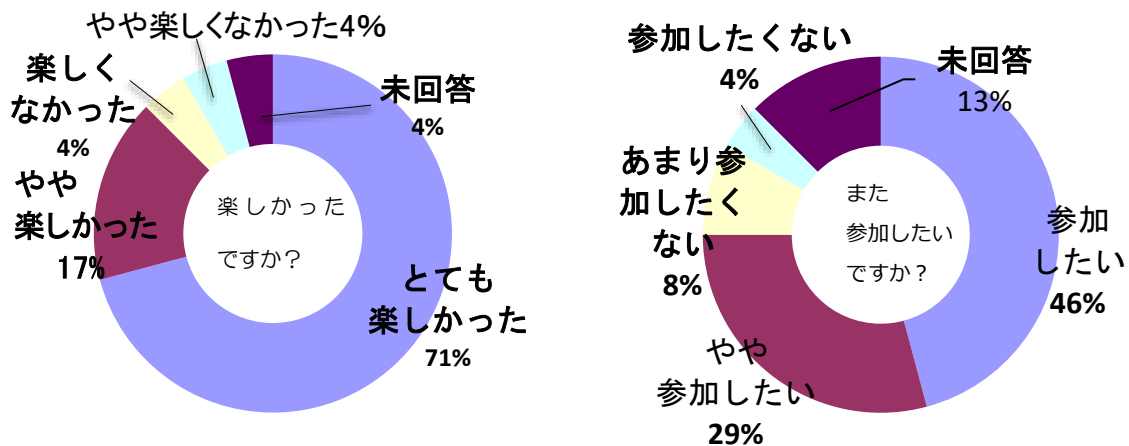


<<参加者の様子>>

MLAPPERS と参加者の距離が近かったので、参加者も積極的に参加意欲を示してくださっていたように感じました。MLAPPERS からの問いかけなどにも反応が良く、一体感も感じられたイベントになったように感じました。今回の超参加型音楽イベント MLAP に対して MLAP 連携協議会一山委員から「・座ったままでできる活動、誰でもが参加できる活動である ・短時間のプログラムだったが、みなさんの笑顔が見られて元気が出た ・とても楽しかったのでまた参加したいと思った」とのコメントがありました。

<<アンケート調査結果>>

終了後のアンケートは24名の方が回答してくださっています。「楽しかったですか?」という設問に対しては「楽しかった」もしくは「やや楽しかった」が88%、「やや楽しくなかった」もしくは「楽しくなかった」が2,8%でした。「また、参加したいですか?」という設問に対しては、75%が「また参加したい」もしくは「やや参加したい」と回答して、3,8%が「やや参加したくない」もしくは「参加したくない」という結果でした。



- ♪ 年齢関係ない音楽で楽しめました。(保護者)
- ♪ MLAPさんの活動を初めて知りました。暖かい雰囲気とても良かったです。(地域住民)
- ♪ いろんな音楽があったので楽しかったです。(障がいのある本人)
- ♪ 身体を音楽だけで動かせるなんてすごいと思いました。(地域住民)
- ♪ 今日城南フレンドクリスマス会とても楽しかったです。(障がいのある本人)
- ♪ とても楽しかった。
- ♪ もっと長く身体を動かす活動がしたいです。今日はありがとうございました。(保護者)
- ♪ 去年の方が楽しかった。(障がいのある本人)
- ♪ 楽器など(鈴、タンバリン)一緒に出来たらもっと楽しかったかな?と思いました。(保護者)

♪ みなさんの前に出て、踊ったり歌ったりするのは、ちょっと恥ずかしかったのですが、みなさんが笑顔になり、拍手をして下さったりしたので、自信を持ってみなさんの前でパフォーマンスをすることができました。みなさんの笑顔が見られて、とっても楽しかったです。とても楽しかったため、ぜひまた参加したいと思いましたので、1月のMLAPも申し込んで参加します。(ボランティア)

<<アンケート調査結果よりの考察>>

アンケート結果にばらつきがでた理由のひとつに考えられるのは、当該施設での超参加型音楽イベント MLAP が「ふれあい広場クリスマス会」の中の1つのプログラムであったことがいえると考えられます。今年度は MLAP の他には人形劇、手話ダンスや福引などがプログラムの中にあり、参加者それぞれが楽しみにしているプログラムが MLAP の他にあったという事も十分考えられます。また、2回目の実施という事で、アンケートの自由表記の中に、「去年の方が楽しかった」と、昨年のイベントと比較してくださっている内容もあり、そのような意見も大切にしていきたいと考えています。昨年度との活動内容の比較については、MLAP 出演を依頼して下さった当該施設の生活相談員で MLAP 連携協議会委員でもある清家委員のコメントは下記<<連携>>の部に掲載しました。

<<連携>>

今回の超参加型音楽イベント MLAP に対して、当該施設の生活指導員で MLAP 連携協議会委員でもある清家委員のコメントです。

①昨年度との違い

- ・昨年度は、ステージ上での出演だったが、今年度は客席、来場者に近い位置での出演だった。
- ・出演の人員は、昨年度3名だったが、今年度は5名だった。
- ・昨年度はストーリー仕立てで、ボランティア学生及び参加者を巻き込んでステージへ上がってもらったスタイルだったが、本年度はMLAPの皆さんが参加者に近づき、メンバーそれぞれが役割を担って、歌やパフォーマンスをリードするスタイルだった。
- ・昨年度は、参加者に楽器を渡し一緒に演奏する場面があったが、今年度は参加者が楽器を演奏する場面は見受けられなかった。今回は、歌遊び・手遊びに近いスタイルだった。
- ・今年度は「MLAP」のTシャツを着ての出演だった。

②昨年度と今年度の善し悪し

- ・昨年度は、参加者である子供達の積極性を引き出すスタイルだったことが良かった。
具体的には、ステージ上で楽器を示して「楽器を触りたい人？」などと言った言葉掛けがあったため興味がある子供達は前へ出ていた。また、ストーリーを作り、学生に役を演じてもらったのも良かった。

- 今年度のMLAPのチームTシャツは、参加者に対しまとまりのあるグループである印象を与えつつ、期待感を抱かしてくれる効果があったように思われた。
- 今年度は、MLAPの皆さんがそれぞれ役割を持って、それぞれがリーダーになったので、飽きが来ず、全体が一つとなり最後まで楽しめた内容だったと思われる。

③課題に思われること

- 記録写真を改めて見返すと、来場者は一様に喜ばれていたように見受けられる。障がい者（知的・発達）やご家族の皆さん方は概ね笑顔だった。が、子供達・障がい児の笑顔が少なかったように感じられた。しかし、みんな最後まで集中して見入っていたので楽しんでくれていたのだと感じる。
- 来場者の感想は、アンケートの結果から読み取ることができるが、実際にはどれほどのインパクトを受けたのかが気になる。その反応を伺う手段は、やはり音楽や楽器に興味があるかどうかを直接尋ねることが一番良いように思われる。健常のお子さんで興味がある子は積極的に食い付いてくるだろう。しかしながら消極的な子や、自己表現や表出が難しい障がい児者には、彼らのそばへグイグイ近づいて反応を伺う方が良いと思われる。照れた反応を示す子もいるだろうし、高い音が苦手な子もいるだろう。そのため、前置きをして（理解をもとめて）、彼らに近づいていくと良いように思われる。今回ほどの人数だと全員に同じアプローチはできなが、良しにつけ悪しきにつけ、一例二例（一人、二人の反応）を獲得できる絶好の機会ではないかと思われる。
- 昨年度と今年度の内容が違っていたので、できれば前回行った内容を盛り込みつつ、今回新しい内容を取り入れると、前回と今回を受けた参加者の反応の比較がし易いのではと思われる。





ふれあい広場

クリスマス会

日時：令和元年12月14日（土）
12：30～15：30

対象：福岡市内にお住まいの障がい児・者、地域にお住まいの幼児・小学生も参加できます。

場所：寿楽園 2F 大広間（城南フレンド併設）

参加費：200円

※12月10日（火）までにお申し込み下さい。

内容

12:30～ クリスマスエ作

「まつぼっくりでクリスマスツリー」を作ります。

13:45～ 「城南おはなし会」

人形劇がありますよ！

「MLAP」

みんなで参加する音楽会♪

14:40～15:30 お楽しみ抽選会



お問い合わせ
城南障がい者フレンドホーム
清家・伊藤

TEL 861-1180 FAX 861-1123



りんりんりんくすⅣ

日時：2020年 1月 13日（祝） 時間：10：30～11：40

場所：福岡市市民福祉プラザホール（福岡市 中央区）

参加者：38名（障がい者15名、保護者15名、一般親子1組（4名）、
行政関係者1名、社会福祉協議会関係者1名、地域住民2名）

ボランティア：15名（一般6名、福岡大学・西日本短期大学学生8名・障がいの
ある本人1名）

MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 8名

後援：福岡市・福岡市教育委員会

<<概要>>

音楽療法士を中心とした勉強会である博多音楽療法コミュニティ LINKS の4回目の超参加型音楽イベント「りんりんりんくすⅣ」として実施しました。MLAPのプロジェクトが開始した昨年よりも2年前に開始したイベントで、年を重ねる毎に、イベントとして定着をしてきた印象を受けました。ボランティアにもできるだけ大勢参加してもらい、参加者のサポートをお願いすると共に、参加者全員と一緒に楽しむ経験を提供することを狙いとしています。

<<プログラム内容>>

超参加型音楽イベント MLAP のファシリテーターとして8名のMLAPPERSと1名のボランティアを中心にして、歌唱、身体活動、楽器活動、鑑賞、のプログラムを80分程度実施しました。ふくふくホールの観客席をフラットにして、またステージとフロアの段差をできる限り無くして、MLAPPERSと参加者の一体感を狙った環境設定で実施しました。

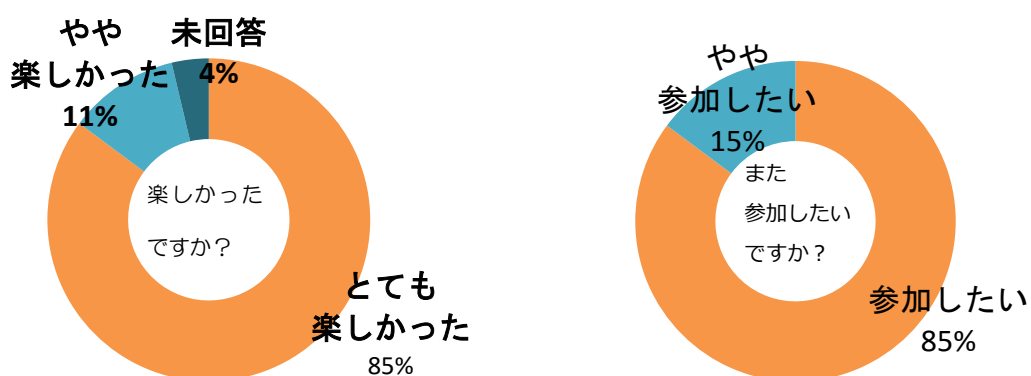
<<参加者の様子>>

過去にもこのイベントに参加した経験のある参加者も少なくなく、開始時より期待感と温かい雰囲気を感じられる空間の中で、どの活動も活気があって盛り上がった活動となりました。この報告書の中の「超参加型音楽イベント実践報告」の1、2と3でMLAPを経験して下さった「ひまわりパーク上牟田」の利用者の方が、この「りんりんりんくす」のイベントの情報を聞いた事で、自分自身で公共交通機関を利用して実施場所まで来て参加をしてくれています。



<<アンケート調査結果>>

終了後のアンケートは27名の方が回答してくださっています。「楽しかったですか?」という設問に対しては「楽しかった」もしくは「やや楽しかった」がを合わせて96%、「また、参加したいですか?」という設問に対しては、100%が「また参加したい」もしくは「やや参加したい」と回答しています。



- ♪ 娘が初めて会ったボランティアさんと音楽（曲）がもっと聞きたかったと話すようになっていた。初見の人とはなかなか慣れないが好きな音楽の話題で少しつながったのかもしれない。（保護者）
- ♪ 音楽が好きだけど静かに座っていることが出来ない子供も一緒に楽しめる事が出来たのでとても嬉しかったです。ありがとうございました。（保護者）
- ♪ 楽しそうにしている参加者を見ているとこっちまで楽しくなりますね。
- ♪ 皆さんからパワーをもらえて日常では感じる事の出来ない楽しさを味わうことが出来ました。（施設職員）
- ♪ 城南フレンドのクリスマス会でMLAPさんの活動を知りました。娘は知的障害がありますが音楽、今日の活動などをとても好きで私も気兼ねなく連れてこられるので参加しました。初めてで少々恥ずかしがっていましたがいっぱい楽しめました。（保護者）
- ♪ 笑顔が多い。（保護者）

- ♪ とても楽しかったです。（障がいのある本人）
- ♪ 音楽の感じ方は本当に自由に自由に表現できている身体の動きや声や表情を見ることが出来てとても嬉しかったです。私自身もとても楽しめました。汗かきました。
- ♪ 盛り上がるだけでなく止めたり静かに耳を澄ましたりするので参加がしやすいと思った。楽しそうにしている参加者を見ているとこっちまで楽しくなりますね。（地域住民）
- ♪ 知っている友達や先生がいたので緊張することなく楽しく参加する事が出来ました。（保護者）
- ♪ 1人で参加しましたが楽しく勉強させていただきました。今度は近所の小さい子供を連れて参加したいと思います。音楽はいつも良いですね。（地域住民）
- ♪ 初めて参加しました。とても楽しかったです。ありがとうございました。（地域住民）
- ♪ りんりんりんくすは初めての参加でしたが、本人も妹もすごく楽しんでいて、その姿を見れたことが私たちには何より良かったなという感想です。同じような障害児向けのイベントにも行ったことはありますが、その中でも一番くらいに楽しめたと思います。何が違うのかはうまく言葉にできませんが、私が感じたのは雰囲気の良いさでした。・広すぎず、狭すぎない会場（子どもについて回らなくても安全だった） ・参加者にも運営の方にも構われすぎず ・好きに動き周りながら参加できて ・どんな参加の仕方でもいいんだよーという空気（やってもいい、やらなくてもいい、やり過ぎて怪我がなきゃいい）が説明されずとも漂っていて…今考えると、私たち親がその雰囲気に身を委ねられたというのが一番良かったと感じられた原因だったかなと。ポラさんがあれこれと手伝ってくれるのは本当に助かるんですが、いつもどこか「申し訳ないな、（こんなに手を煩わせて）うちの子にはまだ早かったかな」というモヤモヤがあるんですが、今回はあまりそれも考えずに済んで、まさにのびのび参加できました。（みんなでリズムをとる活動など私が楽しんでしまいました） たまたまうちの子どもに合っている活動だった、体調が良かったということもあるでしょうが…とにかくまた参加できればなーと思えた楽しいイベントでした。ありがとうございました。（保護者）
- ♪ 中学2年生の息子と一緒に、今回2回目の参加です。ことば、会話でのコミュニケーションは難しい息子ですが、音楽あそびは小学生の頃から大好きで、今回もノリノリで踊ったり、歌ったりしていました。小さな幼児さんからご年配の方まで、年齢、性別、障がいの有無、関係なく音楽を通して一体感を感じる事ができました。このような音楽催しをもっと色々な地域で行われ、たくさんの人たちに広がっていくといいな、と思います。（保護者）
- ♪ 今回は息子がテンションが程よくアゲの時期だったので、本人なりに楽しく参加できて良かったです。先生やスタッフの方、知り合いがたくさんおられたので安心できたのかとも思います。重度の親はまわりに迷惑をかけないとか、本人の反応も予想がつかず、どうしても遠慮癖がついてしまいます。申し込む時も躊躇したり悩んだりもするので、もう少し申し込み期間が長くとれたらよかったかなと思います。また支援学校に通っている間は情報が回っても、成人期に入るとなかなか伝わらない状況になりがちです。みんながみんなHPやFacebookをまめにチェックしている訳ではないので、最後は口コミかなと感じます。何回も繰り返し開催して、次第に参加の輪が広がっていくといいなあと期待しています。（保護者）
- ♪ 大きなホールでの活動でビートンとは音の響き方が全然違い、いつもは感じられないような臨場感を味わうことができ、子供たちだけではなく保護者の皆さんや大人も楽しむことができていたと思います。ステージに立って

いたけどホールみんなが楽しそうに歌ったり踊ったりしているのを見て私自身も楽しかったです。(ボランティア)

♪ 「上手にさせないといけない」とか「まわりと違うことをさせてはいけない、とかを心配せずに参加でき、保護者自身も楽しめた。(保護者)

♪ 自分自身も楽しく、障がいのある方が楽しそうにしている姿を見て、さらにうれしくなった

♪ 楽しかった。(障がいのある本人)

♪ こんな活動を全く知らなかった。障がいがある人とかかわる、ということで少し気が張って参加したが、参加してみると自分自身が楽しく、障がい者を意識することがなかった。自分の地域でもやってもらいたい。

(民生員児童委員)

<<アンケート調査結果よりの考察>>

「楽しかったですか?」と「また参加したい」という設問に対して、どちらも96%を超える結果となりました。参加者のこの高い満足度を引き出したその理由のひとつとして考えられるのは、オープンの活動ではあるものの、この「りんりんりんくす」イベントを事前知っていて、楽しみにしてくださっている参加者が多いことが挙げられるのではないかと考えています。MLAPPERS側も、例年の参加者の反応やアンケートを参考にして、より楽しんでもらえるようなプログラムを計画実施している事も要員のひとつであると考えています。地域住民の参加もあり、障がいの有無に関係なく一緒に音楽活動を行うことで、自然と理解し合うことをお互いを感じ合うことができたことは、当実践研究の目的のひとつである、共生社会への実現へ大きく期待を持つことができました。

<<連携>>

昨年度に引き続き、福岡市内の特別支援学校に案内をすることで繋がりができて、今後の連携のきっかけになった活動になりました。また、多くのボランティアとの連携や、地域大学のサークルメンバーとの連携も実現されたと感じています。



大人のゆっくりりんりんくす |

日時：2020年1月13日（祝） 時間：14:00～15:00

場所：福岡市市民福祉プラザホール（福岡市 中央区）

参加者：43名（事前に申し込んだ高校生以上の障がい者 7名、保護者6名、
高齢者施設利用者10名、高齢者施設職員3名）

ボランティア：10名（一般3名、福岡大学・西日本短期大学学生6名、障がいの
ある本人1名）

MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 8名

後援：福岡市・福岡市教育委員会

<<概要>>

音楽療法士を中心とした勉強会である博多音楽療法コミュニティ LINKS が中心となって実施している超参加型音楽イベント「りんりんりんくす」に参加したいけれど、なかなかその勇気がないという本人の保護者からの意見を受け、近い将来に超参加型音楽イベントに参加できる事を目標にして、そのための準備イベントとして、参加者とボランティアがマンツーマンで参加するスタイルの超参加型音楽イベント MLAP として実施したのがこの「ゆっくりりんりんくす」です。

<<プログラム内容>>

超参加型音楽イベント MLAP のファシリテーターとして8名のMLAPPERSと1名のボランティアを中心にして、歌唱、身体活動、楽器活動、鑑賞、のプログラムを60分程度実施しました。事前に申し込みをしていた参加者を中心として予めボランティアとペアを組んでいたため、その参加者たちの参加の様子を想像しながらできるだけペアでの関わりが増えるようなプログラム内容を計画、実行しました。

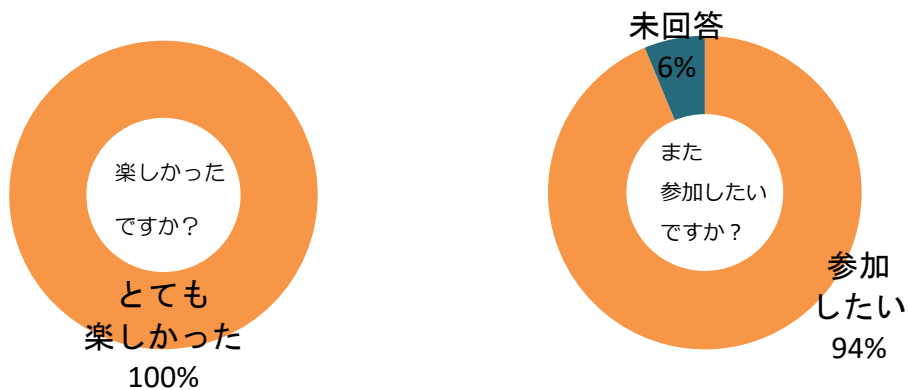


<<参加者の様子>>

事前に申し込みをしてくださった利用者の他に、午前中の超参加型音楽イベント「りんりんりんくす」に参加して下さって、そのままこの「ゆっくりりんりんくす」に参加して下さった方が数名おられたり、地域の高齢者施設の利用者とスタッフが飛び入りで参加して下さったり、と当初の予定よりも大勢の人数での開催でしたが、それでも利用者ひとりひとりの顔をしっかりと見ながら落ち着いたアットホームな雰囲気を実施できたと感じています。申し込みをしてくださっていた利用者の方も、ボランティアとペアを組んでいるという事で安心をされたのか、本人の興味が向くままにのびのびと音楽活動に参加して下さっている様子が伺えました。また、午前中から引き続き参加された方も終始笑顔で生き生きと活動されているのが印象的でした。この超参加型音楽イベント MLAP に対して MLAP 連携協議会一山委員から「・ボランティアに来たが、自分自身がとても癒やされ、元気になれた ・歩きたいだけ歩き続けても、大きな声を出しても、肯定される、・・・普段は周囲に迷惑をかけていると思い謝ってばかりおられる ・何をしても大丈夫、自由で構わない、そのまま大丈夫 ・評価、否定、とがめられる、指導されることは一切ない ・親御さんが謝る必要は全くない ・2人組での活動（個別活動）であると、さらに信頼関係が深まり仲良くなり、共に楽しめる」とのコメントがありました。

<<アンケート調査結果>>

終了後のアンケートは16名の方が回答してくださっています。「楽しかったですか?」という設問に対しては「楽しかった」が100%、「また、参加したいですか?」という設問に対しては、94%が「また参加したい」と回答しています。



- ♪ 今回の音楽やダンス活動は年齢や障がいの有無に関係なく自由な雰囲気に参加者誰でも楽しめるので本当に良いと思います。スタッフの方は準備が大変だと思いますがまた来年もその次の年も続けていって頂きたいです。(ボランティア)
- ♪ 利用者の皆さんがいつも見せないような笑顔をしたり楽しんでいる姿を見ることが出来ました。障がいのある人高齢者、私たちが一つになって楽しい雰囲気をくれていたと思います。(ボランティア)
- ♪ 年齢、性別、障がいの有無にかかわらず音楽は人を動かすこと、つなぐことを体験することが出来ました。多くの人

にこの活動を知ってほしい、参加してほしいと強く感じたひとときでした。（ボランティア）

- ♪ 「次回はいつありますか」と尋ねられましたのでみなさんがとても楽しく「また次回も来たい、参加したい」と思っていることがよく分かった。（ボランティア）
- ♪ ペアになって活動することによって相手（ボランティアさんたち）に対する信頼感が感じられました。この人と一緒に参加したい、楽しみたいという気持ちが分かりましたのでペアの担当がある一対一の活動はより内容が深められると思いました。いつもありがとうございます。（ボランティア）
- ♪ 午前中の部でちょっとのぞかれた方から「おどれるんですか」ときかれたのでどうぞ参加されて下さいとお誘いしました。ダンスの時に楽しそうに踊られたので本当の意味で誰でも参加して楽しめる活動になっていたかなと思いました。（ボランティア）
- ♪ はじめて参加させていただきましたが主催者、スタッフはじめみなさんの情熱をとて感じられたイベントでした。声をかけて下さりありがとうございました。次回はもっと体力を付けて臨みたいと思います。（ボランティア）
- ♪ 利用者の皆さん（おとなりさんデイサービス）がいつも見せないような笑顔をしたり楽しんでいる姿を見ることが出来ました。障害のある人高齢者、私達が一つになって楽しい雰囲気をつくれていたと思います。（ボランティア）
- ♪ 今日とても楽しかった。みんなと交流して笑顔が見られていた。また参加したいと思います。（ボランティア）
- ♪ とても楽しかったです。（地域住民）
- ♪ 音楽療法士とボランティアの方とついてくれたので安心してみていられ、本人が想像以上に楽しく参加できていてうれしい驚きがあった。私も楽しめた。いつもはなかなか参加するのに決心がつかないお友だちも誘ったら、ずっと歩き回っていても大丈夫で、こんな会は初めて、ととっても喜んでいて。次回があれば他のお友だちも誘いたい。（保護者）
- ♪ 12月の城南フレンドホームでのMLAPが楽しかったので、来ました
- ♪ 楽しかった。また来たい
- ♪ うちの子を実際に見てもらってわかると思いますが、動き回って、落ち着いて椅子に座って活動しないので、この前のように自由に動いていい活動なら本人はとても楽しかったと思います。この前のような参加でいいなら、次回も参加したいと思います。いろいろな楽器もあって、私も楽しかったです。動き回ってはいいましたが、本人も楽器も少し鳴らしたり出来て良かったです。外に出ることなく、最後までホールにいたので、好きな活動だったと思います。帰宅後は、特に普段と変わりなく過ごしました。（保護者）
- ♪ 初めての参加でした。ボランティアとしてしっかり役割を果たせたか分かりませんがとても楽しかったです。施設での音楽療法に活かしたい、まねしたい、取り入れたいと思うことばかりだったので勉強になりました。また同じ分野で働く方や学生さんとも交流ができとても良い時間になりました。ぜひまた参加したいと思います。次は施設の利用者さんを連れて行きたいと思いました。ありがとうございました。（ボランティア）
- ♪ 久しぶりに歌ったので全然声が出なかったけど役に立てて良かったです。次回からは事前に歌の練習をしておきます。普段は関わることができないような人とも関わって良かったです。
- ♪ ご高齢の方々と一緒に懐かしい歌を歌ったり、りんりんりんくすとは違った楽器を使っの演奏ができて初めて会った人とも交流できたと思います。りんりんりんくすとは違ったゆっくりなのでみんなと一緒に参加することが

むずかしいような子供でもじぶんなりのペースで楽しめたかと思います。(保護者)

♪ 初めて参加しましたが、総じて楽しかったというのが率直な感想です。障害の有無や国籍、年齢に囚われず、参加者みんなで楽しめるのは音楽の魅力の一つでもあったと思います。普段大きな声を出したり好き勝手に音を鳴らすのは良くないことだと言われがちですが、療育の中だとむしろ歓迎されて、自分を肯定してもらえる体験ができると思います。今回、ボランティアに参加したことで、音楽療法でどんなことをしているのか、それがどのように作用していくのかを知ることができて良かったです。どうもありがとうございました。(ボランティア)

♪ 障害がある方と初めて会って、最初はどんなふうに、どんな雰囲気に関わったらよいか分かりませんでした。障害がある女の子と一緒に歌ったり踊ったりして、最後には笑顔で握手もしてくれて、とても嬉しかったです。みんなと一緒に音楽活動に参加をして、歌や踊り、手話、楽器などをしながら、みんなの笑顔を見られて、とても楽しかったです。私はいつも高齢者施設でアルバイトをしているので、障害者の方と交流する機会がなかったので、とても勉強になりました。歌、音楽は、優しい気持ちになれました。日本の歌を私も練習して覚えたいと思いました。私は社会福祉会ボランティアサークルの部長で、手話サークルの部員なので、もっと手話の歌を覚えたいと思いました。これからも、もっと色々なボランティアに参加をして頑張りたいと思いました。障害がある方々が手話を上手にしていたので、びっくりしました。私は、有名なパブリカの曲を手話で練習して、みんなと一緒に手話の歌をやりたいと思いました。パブリカの手話をすれば、みんなが面白くなり、楽しくなるかなと思っています。手話を頑張りたいです。拍手をもらって自信を持って前に出て踊りなどができるようになった。(ボランティア)

♪ MLAP 活動を通して地域の人や障害を持つ人が共に参加できるドラムサークルやりんりんくすなどの音楽療法のボランティアに参加した。この活動は、好きな楽器を自由にたたいてならしてみたり、ボランティアの私達がバルーンを上下に動かすとそこに入りながら楽しんだ。地域の人や障害児者の方とのコミュニケーションを行う環境作りの一環でこれは、両者の共生社会で必要な事だと考える。今後活かせる活動だと思う。(ボランティア)



<<アンケート調査結果よりの考察>>

「楽しかったですか?」と「また参加したい」という設問に対して、どちらも94%を超える結果となりました。参加者のこの高い満足度を引き出したその理由のひとつとして考えられるのは、このイベントの実現そのものが障がいとともにある本人の保護者の希望であった事が挙げられると考えられます。できるだけ要

望に沿える様に練られたプログラムであったこと、加えて当日の参加者の反応に応じて選曲、活動進行時のテンポや環境設定など、臨機応変に柔軟性をもった音楽活動を提供できた事も重要な要因として挙げられると考えられます。また、当日は高齢者の飛び入り参加にも対応でき、音楽の柔軟性が証明される結果となりました。それ以外の理由として忘れてはならないのは、このイベントを切望し、期待して参加した参加者の気持ちを受け入れたスタッフやボランティアメンバーが創り上げた温かい会場の雰囲気であったと考えています。今回初めて企画実施した「ゆっくりりんりんくす」に参加された方は、この経験をきっかけに、オープンな活動に参加してみる気持ちになってくださって、活動範囲や人との繋がりが広がって、それが生活の質の向上にも反映されると嬉しいと感じています。



<<連携>>

障がいとともにある本人やその保護者の方、地域施設利用者や地域住民の方々などにも広くこのイベントの存在を知っていただく事になり、更には多くのボランティアとの連携や、地域大学のサークルメンバーとの連携も実現されたと感じています。





MLAPは、
MUSIC with
LIFE for ALL
PROJECT
の愛称で、
2018年度からの
文部科学省の実践
研究です♪



あらゆる人に生運
音楽プロジェクト

あなたの好きな方法で参加してください！
ひにち：2020・1・13（祝）
ばしょ：ふくふくプラザホール
（福岡市中央区 地下鉄唐人町駅徒歩10分）
さんかひ：むりよう！



超参加型音楽イベント

りんりんりんくすIV

じかん：10:30～11:40

午後からは、..

ゆっくりんりんりんくす1st.

じかん：14:00～15:00

りんりんりんくすは、
こどもから大人まで、
近所の人や専門家の
方、障がい、年齢、
性別 問わずいろんな
方に来て楽しんでいた
だきたい音楽プログラム
です♪


ゆっくりんりんりんくすは、
りんりんりんくすに 参加し
てみたいけど、沢山の人の
活動はちょっと勇気がない
かも。。。 という高校生
以上の方のためのボランテ
ィアとマンツーマンで楽し
む音楽プログラムです♪

♪参加及びボランティアを希望される方は
申し込みをお願いします♪

締切切り：2020・1・5（月）

申し込み・お問い合わせ：福岡市手をつなぐ育成会保護者会
email: hogsha@fiku.jp
電話：092-713-1480

申し込み内容：お名前・連絡先・参加人数
「りんりんりんくすIV」♪当日参加もokです♪
「ゆっくりんりんりんくす」必ず事前申し込みが必要になります♪



主催： 福岡市手をつなぐ育成会保護者会
共催： 博多音楽療法コミュニティLINKS コーディネーター： 米倉裕子

親子で楽しむ音楽遊び♪

日時：2020年10月31日（土） 時間：13:00～13:40

場所：福岡市市民福祉プラザ 5階 軽運動室（福岡市 中央区）

参加者：8名

MLAPPERS：博多音楽療法コミュニティ LINKS 3名

<<概要>>

福岡市手をつなぐ育成会保護者会、幼児・学齢部会が、感染防止につとめながら新しい生活様式で安全にできる催しを企画し開催するとのことで、そのイベントとして実施しました。同日に続けて実施された「保護者のための音楽遊び」と合わせて、MLAP3年目において、初めての、そして唯一のリアル超参加型音楽イベントとなりました。

<<プログラム内容>>

超参加型音楽イベント MLAP のファシリテーターとして3名の MLAPPERS を中心にして、新型コロナウイルス感染症防止を鑑みて歌唱活動は避け、十分な距離を保ちながら楽しめる身体接触をしないゲーム性の高い身体活動、子ども MLAPPIES には馴染みのある絵本の活動などのプログラムを40分程度実施しました。



<<参加者の様子>>

今年初めての、そして唯一のリアル MLAP に、MLAPPERS も MLAPPIES も期待100%で臨んだこともあり、再会できた喜び、感動を共有できる嬉しさ、音楽が後押しをする解放感に浸りながらの心温まる時間と空間を感じました。MLAPPIES の皆さまのはじけた笑顔が印象的でした。



♪今年度実施予定だった幻のりんりんりんくすのチラシです♪



MLAPは、
MUSIC with
LIFE for ALL
PROJECT
の愛称で、
2018年度からの
文部科学省の実践
研究です♪



あらゆる人に生涯
音楽プロジェクト

あなたのままで参加してください！

ひにち：2020・12・20（日）

ばしょ：ふくふくプラザホール
（福岡市中央区 地下鉄唐人町駅徒歩10分）

どちらも さんがひ：むりよう！

どちらも ていいん：50名

午前中は、、、むらっふう！



ワークショップ III

動画を
見てみよう！

じかん：10：30～11：45

午後からは、、、超参加型音楽イベント

りんりんりんくす V

じかん：14：15～15：30



りんりんりんくすは、
こどもから大人まで、
近所の人や専門家の方、障がい、年齢、
性別 問わずいろんな
方に来て楽しんでいた
だきたい音楽プログラム
です♪

ワークショップIIIは、誰でも
誰とでも繋がる音楽活動を
私も職場やどこかで、誰か
とやってみたいかも！という
あなたに送るプログラムで
す♪今年の講師は、ドラ
ムサークルフクオカメンバー
の天野英樹先生です！楽し
い会になりそうです♪

♪参加を希望される方は事前申し込みを必ずお願いします♪

締め切り：2020・12・14（月）

申し込み・お問い合わせ：福岡市手をつなぐ育成会保護者会

email: hogsha@fiku.jp

電話：092-713-1480

申し込み内容：お名前・連絡先・参加人数

今年は、しっかりとした感染症予防対策をした上での
実施を予定しております。参加を希望されるみなさまには、
ご理解の上で必ず事前申し込みをお願いします♪



主催： 福岡市手をつなぐ育成会保護者会 コーディネーター： 米倉裕子

共催： 社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会 博多音楽療法コミュニティLINKS